

コメントシート

氏名	ジェームズ・S・フレンチ
職名	ノースランド・フォレスト・プロダクツ社、社長兼 CEO
団体名	米国広葉樹連盟、前会長
国名	米国

団体（米国広葉樹連盟）の概要

沿革の概略： 2003年創設 - ワシントンDCに本部を置く最大の広葉樹材業界団体

会員： 10,000社を超える企業を代表する22の業界団体から構成される統括団体。合板、フローリング、化粧板から広葉樹材製材品に及ぶ。

目的・活動： ワシントンにおいて議会のメンバーや行政関係者に対し、本団体のメンバーの共通事業権益を促進及び表明すること。

違法伐採問題に対する団体の方針及びその活動

2008年改正レイシー法を支持する主要業界グループ。

レイシー法は、世界の森林を保護するだけでなく、米国への違法伐採木材の流入により直接的に影響を受ける米国の労働者及び企業のために公平かつ対等な競争の機会を提供すると確信している。

トピック1 違法伐採問題に対する日本の取組の全般的評価

2001年時点では、日本の法律は革新的で、世界においても他国よりも抜きんでいたが、現在、その自主基準では、十分に有効とは言えない。

違法な木材の輸入を禁止する法律を制定することが重要であり、現行の自主的制度では、不十分である。

日本は、極めて重要な木材市場であり、当該問題については世界的リーダーである。日本にとっては、違法な木材製品の流入を阻止するための強力な法制度を備えた上で、米国、ヨーロッパ及びオーストラリアと連携する時である。

トピック2 Goho-woodを背景とする違法伐採問題に対応する業界団体の活動の可能性

変革への支援を目的として広範囲にわたる連携を構築するためには、信頼できる環境グループ(ENGO)やその他のパートナー(労働者、消費者グループ等)と協力し合うことが極めて重要である。